

Naruhiko Kawaguchi

フォルテピアノ

川口 成彦

作曲背景を知り尽くし、自在で豊かな音楽性で
作品と楽器双方の魅力を最大に引き出す
スペシャリスト

昨年行われたショパン国際ピリオド楽器コンクールの栄えある第1回大会にて第2位に入賞した川口成彦。今回、1820年製ウィーン式アクションのフォルテピアノを用い、この楽器が製作された同時代に誕生した名曲の数々を演奏します。ウィーン式ピアノを好んだシューベルトによる美しいメロディの2曲に、ベートーヴェン最後の三大ソナタの1つ第30番は、楽器が製作された1820年の作。無駄のない凝縮された形式の中にあって自由で幻想的な楽想は、この年代を境に発展していくピアノの未来をも予感させます。ショパン第1番のソナタは、若き日の習作として演奏機会が希少ですが、ショパンの天才性が随所に宿り、ワルシャワ時代に愛用したウィーン式ピアノで聴くことでこの曲の真価を味わえます。ウィーン式ピアノの持つ柔らかから珠の転がるような音色と歌うような表現は、楽器が繊細なだけにその扱いに慣れた演奏者である川口により、そして紀尾井ホールの響きの中で演奏されるからこそ極上のものになります。どうぞ、お聴き逃しなく。

- シューベルト ● ハンガリー風のメロディ 短調 D 817
- シューベルト ● 幻想曲(グラーツ幻想曲) 八長調 D 605a
- ベートーヴェン ● ピアノ・ソナタ 第30番 ホ長調 Op.109
- ● ●
- ショパン ● 3つの夜想曲 Op.9
- ショパン ● ピアノ・ソナタ 第1番 八短調 Op.4

※使用楽器：J. G. グレーバー(1820年、インスブルック)



1989年に岩手県盛岡市で生まれ、横浜で育つ。第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位(2018)、ブルージュ国際古楽コンクール・フォルテピアノ部門最高位(2016)、第1回ローマ・フォルテピアノ国際コンクール(M.クレメンティ賞)優勝(2013)。フィレンツェ五月音楽祭など欧州の音楽祭にも数多く出演を重ねる。協奏曲では18世紀オーケストラなどと共演。2019年のワルシャワの音楽祭『ショパンと彼のヨーロッパ』ではポーランドの古楽オーケストラ {oh!} Orkiestra Historycznaと共演。東京藝術大学大学院およびアムステルダム音楽院の古楽科修士課程をいずれも首席修了。録音は『ゴヤの生きたスペインより』(MUSIS, レコード芸術および朝日新聞特選盤)など。

2020. **3.27** **金** 19時開演 (開場18時15分)

全席指定 (消費税込) 一般 2,500円 U29 1,000円
 発売日 一般発売 11月1日(金)
 紀尾井ホールウェブチケット午前0時～ 電話予約午前10時～

U29 公演当日に29歳以下の方ならどなたでも利用できるチケットです。紀尾井ホールウェブチケットと当日販売のみで取扱います。枚数には制限があります。詳しくは、紀尾井ホールウェブサイトへ
 紀尾井ホールウェブチケット <http://www.kioi-hall.or.jp>
 紀尾井ホールチケットセンター 03-3237-0061 (10時～18時 / 日・祝休)
 ローソンチケット 0570-000-407 (Lコード: 32764) <http://l-tike.com>

「紀尾井友の会」「紀尾井サポートシステム(あおい会員)」ご招待応募締切 2020年1月31日(金)
 「紀尾井友の会」および「紀尾井サポートシステム」の方は2枚までお申込みいただけます。入会方法は紀尾井ホールウェブサイトまたは下記まで。
 紀尾井友の会事務局 03-5276-4540 紀尾井ホールサポートシステム事務局 03-5276-4543 (土日祝・休 10時～17時)
 ※曲目、出演者は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。※小学生のご鑑賞には保護者(成人)のご同伴をお願いします。
 ※乳幼児等未就学の方のご同伴・ご入場はご遠慮ください。※スペースに限りがありますので、車いすでご来場の方は事前に必ずご相談ください。

紀尾井ホール

【最寄駅】
 ● 四ツ谷駅 麹町口 (JR線・丸の内線・南北線) 徒歩6分 ● 麹町駅 2番出口 (有楽町線) 徒歩8分
 ● 赤坂見附駅 D出口 (銀座線・丸の内線) 徒歩8分 ● 永田町駅 7番出口 (半蔵門線・有楽町線) 徒歩8分